

## JENESYS2016 招へいプログラム 6 陣

対象国・地域：ASEAN 10 カ国、東ティモール、モンゴル、チャイニーズタイペイ  
テーマ：アジア国際子ども映画祭 2016  
の記録

### 1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2016」として、ASEAN10 カ国、東ティモール、モンゴル、チャイニーズタイペイより高校生を中心とした青少年 123 名が、11 月 23 日～11 月 30 日の 7 泊 8 日の日程で来日し、第 10 回アジア国際子ども映画祭への参加および日本の社会、文化、教育等などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。学校交流、映画祭国内参加者との交流会、スポーツ体験等を通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験について SNS を通じて对外発信を行いました。また、帰国前の報告会では訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加者・人数】123 名（インドネシア 10 名、カンボジア 10 名、シンガポール 10 名、タイ 10 名、チャイニーズタイペイ 10 名、東ティモール 10 名、フィリピン 9 名、ブルネイ 4 名、ベトナム 10 名、マレーシア 10 名、ミャンマー 10 名、モンゴル 10 名、ラオス 10 名 ※50 音順）

【訪問地】東京都、北海道（全員）

### 2. 日程

- 11 月 22 日（火）、23 日（水）  
成田国際空港／羽田空港より入国  
【オリエンテーション】
- 11 月 24 日（木）北海道へ移動  
【環境関連施設視察】オホーツク流氷館  
【地方自治体表敬訪問】北見市
- 11 月 25 日（金）【スポーツ交流】カーリング体験  
【映画祭関連イベント】映画祭作品視聴  
【映画祭関連イベント】国内参加者との交流夕食会
- 11 月 26 日（土）【映画祭関連イベント】オホーツク国際ふれあい広場  
【映画祭】アジア国際子ども映画祭（授賞式）  
【映画祭関連イベント】交流会（アフターパーティ）
- 11 月 27 日（日）【自然・環境関連施設視察】北の大地の水族館（山の水族館）  
【地域産業視察】果夢林の館、ハッカ記念館

【最先端技術視察】北網圏北見文化センター

【ワークショップ】

11月28日（月）【報告会】

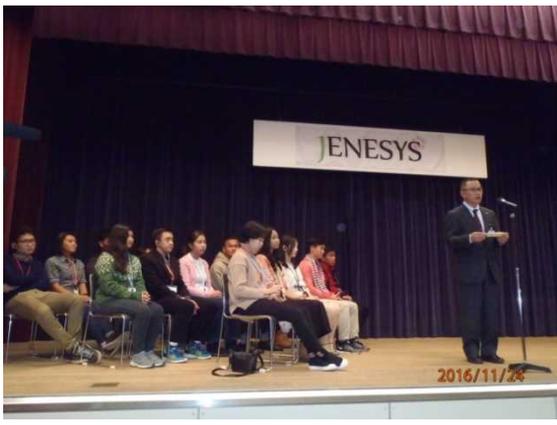
【学校交流】

- ①北海道北見北斗高校（カンボジア、チャイニーズタイペイ）
- ②オホーツク社会福祉専門学校および北見情報ビジネス専門学校（ブルネイ、インドネシア、マレーシア、）
- ③国立大学法人北見工業大学（ラオス、ベトナム）
- ④北見藤女子高等学校（フィリピン、東ティモール）
- ⑤日本赤十字北海道看護大学（モンゴル、ミャンマー）
- ⑥北見美容専門学校（シンガポール、タイ）

11月29日（火）東京へ移動

11月30日（水）成田国際空港／羽田空港より出国

### 3. プログラム記録写真

	
11/24【地方自治体表敬】北見市/【ウェルカムセレモニー】	11/25【スポーツ交流】カーリング体験
【Courtesy Call】Kitami City / 【Welcome Ceremony】	【Sports Exchange】Curling Experience
	
11/25【映画祭関連イベント】国内参加者との交流夕食会	11/26【映画祭関連イベント】オホーツク国際ふれあい広場

<p>【Exchange Party】 Exchange Program and dinner</p>	<p>【Film Festival related Event】 ” Okhotsk Kokusai Fureai Hiroba” , International Exchange Event</p>
	
<p>11/26 【映画祭】 アジア国際子ども映画祭 (授賞式)</p>	<p>11/26 【映画祭関連イベント】 交流会(アフターパーティー)</p>
<p>【Film Festival】 Awarding Ceremony</p>	<p>【Film Festival related Event】 Exchange Program Party (After Party)</p>
	
<p>11/27 【自然・環境関連施設視察】 温根湯「北の大地の水族館 (山の水族館)」</p>	<p>11/27 【地域産業視察】 ハッカ記念館</p>
<p>【Nature/Environment】 KITA NO DAICHI NO Aquarium (Aquarium in the mountain)</p>	<p>【Observation of Local Industry】 Hakka (Mint) Museum</p>
	
<p>11/27 【ワークショップ】</p>	<p>11/28 【報告会】</p>

【Workshop】	【Reporting Session】
	
11/28【学校交流】北見工業大学	11/28【学校交流】北海道北見北斗高校
【School Exchange】 Kitami Institute of Technology	【School Exchange】 Hokkaido Kitami Hokuto High School

#### 4. 参加者の感想（抜粋）

##### ◆ カンボジア 学生

今回日本視察の日程を経て、私は天国にいるかのような気持ちになりました。日本は本当に素晴らしい国で、興味深い点がたくさんあります。最も特別だったことは、初めて雪を見たことで、この景色は一生忘れられません。また、日本人の歓迎の仕方・おもてなしに、私は胸が熱くなりました。それだけではなく、日本人は本当に礼儀正しく、倫理観と善意を持っていて、私も真似したいと思いました。その中でも最も印象深いのは北海道北見北斗高校です。

私は今回の交流でたくさんの経験と知識を得ることができました。たくさんの友達もできました。その友達たちは、まるで何年も前から知っている友人のように接してくれ、とても明るい方たちです。私は日本の言葉、文化、歴史について知り、理解することができました。私は本当に日本が大好きです。そして、また日本に遊びに来る機会があることを願います。今回の日本滞在期間で得られた全ての思い出を、私はずっと忘れないでおきたいと思います。

##### ◆ インドネシア 学生

この JENESYS 2016 プログラムに参加している間、私は「小さなことにも注意を払うこと」「他人や周囲に気を配ること」がいかに重要であるか気付くことができました。また「言葉によるコミュニケーションに限りのある他国の参加者や、フレンドリーな日本人たちと交流をさらに深めるためには、自分自身を勇気づけなければいけない」と学びました。また、この北見市の風景、雪、名物料理、多くの名所も満喫しましたが、寒さが私にとってこの街を忘れられないものにしました。また北見を再訪したいと思っています。学校交流もとても短い時間に感じられましたが、本当に印象深いものとなりました。

#### ◆ シンガポール 学生

私がプログラムを通して一番感じた事は、どの内容も全てとても楽しかったという事です。中でも私が大好きだった事は、オホーツク国際ふれあい広場でのもちつき体験でした。また、各国参加者が伝統的なパフォーマンスを披露しましたが、それらは本当に興味深かったですし、私も観客の前でパフォーマンスを披露しました。また屋台の料理はおいしく、友達を作ることができたのも楽しい思い出です。

映画祭（授賞式）では、受賞作品を鑑賞して作品の中に注がれた製作者の苦労を感じましたし、大変刺激を受けました。その後のアフターパーティでは、寒さの中、外で焼き肉を焼いて食べましたが、それは日本人の習慣を経験しながら交流もできたという、とても楽しい時間でした。

最も楽しい思い出は雪合戦です。ホテルの外で他国の参加者が集まっていて、雪の夜、一緒に雪合戦をしました。言葉の壁はありながらも、国の壁を越えた一瞬でした。楽しみは世界共通で、この素晴らしい一時は計画されたものではなく、偶然に引き起こされたものでした。私はこのプログラムに参加し、日本の文化をまた13カ国・地域の参加者の文化を体験し友達となることができました。ここで過ごした時間は決して忘れられない思い出であり、私の人生を変える機会となったと思います。

### 5. 受入れ側の感想

#### ◆ 社会福祉を専攻する学生

今回の交流を通じて一番心に響いたことは、同じ国の人だけでなく様々な文化や言葉、礼儀などを持ち寄った人が集まることによって、思いやりの心が一層深まるということです。言葉が通じなくても、身振り、手ぶりで伝えたり、表情で気持ちを表現したりするなど、相手の気持ちに寄り添い、伝えたいことに耳を傾ける、またわかりやすく伝えるなどといった工夫も交えながら交流をしました。言葉が通じないからこそ、様々なことに興味を持ち、交流を通じて異文化に触れ学び、心と心のコミュニケーションを実現することができるのだと感じました。

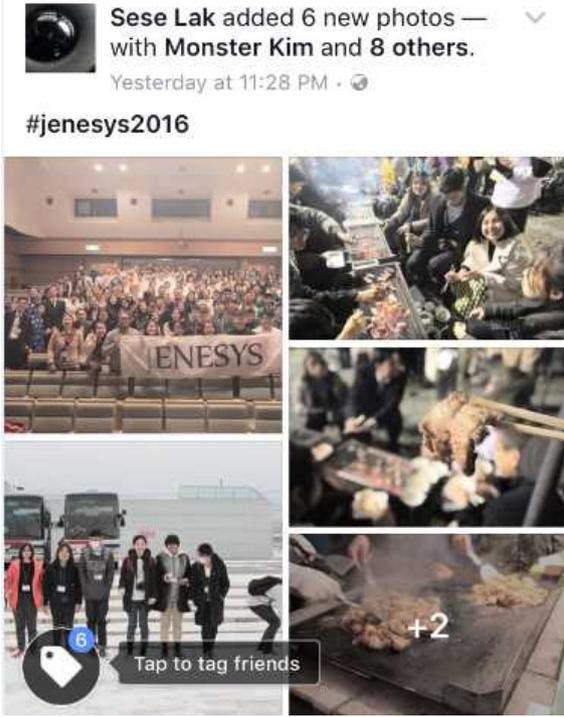
#### ◆ 高校生

初めて他国の人とつながることができて、とてもよい経験になりました。言葉が違うので伝えるのは難しかったですが、一緒に茶道をできて楽しかったです。みなさん作法の習得をするのがとても早くて驚きました。とても明るい方たちだったので、接しやすかったです。

#### ◆ 看護を専攻する学生

看護技術や体験を通じて楽しく交流することができたと思います。モンゴルでは日本と違い、患者さんが着る服「病衣」を、「病衣」では縁起が悪という理由から「妊婦さんが着る服」と表現していたことで、文化の違いを知りました。私たちが看護師になった時には外国の方と関わることもあると思います。文化の違いなど相手を尊重する気持ちを忘れずに関わっていきたいと思います。

6. 参加者の対外発信

 <p>Sese Lak added 6 new photos — with Monster Kim and 8 others. Yesterday at 11:28 PM · 🌐</p> <p>#jenesys2016</p>	 <p>SoftBank 1:01 PM 74%</p> <p>Photo</p> <p>photorezki Kitami, Hokkaido &gt;</p> <p>♥️ 💬 📍</p> <p>♥️ jessie6729, chek_vyrak and 139 others photorezki Congratulations HOLD ON!!! #JENESYS2016 #JICE #INDONESIA</p>
<p>(タイ) Facebook JENESYS2016 についての発信 報告会、北見市視察、交流会での焼き肉</p>	<p>(インドネシア) Instagram 映画祭で受賞しました</p>
<p>(Thailand) Reporting Session, Observation of Kitami City, and Japanese BBQ(Yakiniku) at exchange meeting</p>	<p>(Indonesia) We were awarded Jury Ito Special Prize at the film festival.</p>

## 7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

	
<p>モンゴル) アクション・プラン 参加者が全員各学校でゴミ分別キャンペーンをします。手作りのごみ箱を設置して、ゴミ分別の大切さを全生徒に対して説明を行う。 ごみ箱の使い方。 使用済みの紙、びん、缶、その他という風に分ける。 各階にごみ箱を設置する。 使い方について書いた説明書を壁に貼る。</p>	<p>フィリピン) アクションプラン 「SAE」と名付けました。S は⇒共有 (Share)、A は⇒応用 (Apply)、E は⇒実行するツール (Equip) S は⇒共有 (Share) 私たちの経験を同世代の人たちに直接ことばで、写真、映像をフェイスブック、ツイッター、インスタグラム、ユーチューブなど SNS を使い発信することにしました。 A は⇒応用 (Apply) 自分自身を変えることをしてみようと思います。今回学んだこと、例えば規律正しさ、人を尊敬することで、それらによって他の人に影響を与えることができると思います。 E は⇒実行するツール (Equip) 在フィリピンの各国大使館に要請して日本に行こうとしている人たちや、他の外国へ行こうとしている人のために、その国の文化、言語、価値観、人々の考え方、などについてオリエンテーションを開くように要請します。</p>

<p>Mongolia)</p> <p>We will launch a campaign about trash separation system at our schools. During the campaign we will set up our handmade trash box and explain to all students about importance of trash separation system. The following is the detail;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Our trash box is intended to separate garbage by category such as paper, bottle, can, and so on.</li> <li>• Trash box will be installed in each floor.</li> <li>• Attach the paper explains how to use the trash box.</li> </ul>	<p>The Philippines)</p> <p>Our Action Plan is SAE.</p> <p>SAE stands for <u>S</u>HARE, <u>A</u>pply, and <u>E</u>quip.</p> <p><u>S</u>HARE - First, we should tell our experience through words, pictures and videos to our peers with the use of any social media accounts such as : Facebook, Twitter, Instagram and Youtube.</p> <p><u>A</u>pply - Next, start the change within yourself and with what you' ve learned such as discipline and respect, you will be able to serve as a good influence to other people.</p> <p><u>E</u>quip - Lastly, Foreign embassies of the Philippines should conduct an orientation for the people who are going to Japan or other countries on the basics of their culture such as language, values, practices and beliefs.</p>
---	---